



2019年3月

Roadmap

受信者限定・公開不可

4D v17 Rリリース — v18への道

4D v17 R5が4月にベータ版としてリリース予定です。4D v18までにあと2つのRリリースのみです！

1

4D v17 R3 - リリース済み

4D v17 R3 が公開されてからしばらく経ちました。その機能の概要は：

- ・ [ストラクチャーの転送](#) (メソッド、フォーム、リスト、他すべて)をプレーンテキストで転送し、バージョンコントロール・システムを使用できます。これは4D Summit 2018でOEMカスタマーからの強いリクエストでした。これによりリリース履歴を構築できます。
- ・ [.xlsx形式 \(Microsoft Excel\)での読み込みと書き出し](#)を4D View Proで使う - も4D Summit 2018のOEMカスタマーのリクエストでした。
- ・ 4D Write Proや4D View Pro向けのより多くのコマンド、4D for iOS用のカスタムテンプレート、さらに多くの4dコマンドがプリエンプティブに対応、開発時にフォームをダイナミックフォーム用のオブジェクトに変換など、その他多くの機能があります。

2

4D v17 R4 - 現在ベータ版

[4D v17 R4ベータ版の機能](#)を4Dブログや4Dドキュメントで公開していますが、記憶をリフレッシュするために概要をご覧ください：

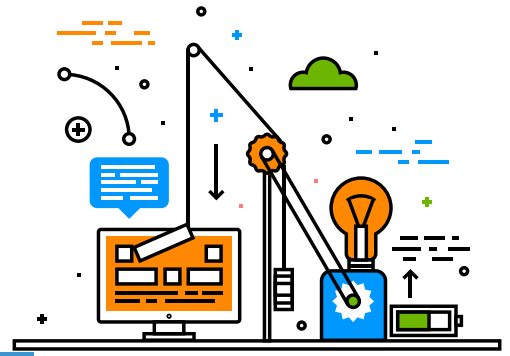
- ・ [サーバー管理](#)：“自分自身のダイアログを構築するためのコマンドが欲しい”。4D Summit 2016(ポートランド)でフィーチャー・リクエストがありました。これまで順次提供してきていましたが、R4で追加されたコマンドでついにこのリクエストに完全に応えることができました。
- ・ [プリエンプティブ・モードでのBegin/End SQL](#) - 4Dリモートでもプリエンプティブ・プロセスが可能に。ユーザーの日常業務を遅らせることなく、すべてのコアを活用しながらSQLを活用しましょう。
- ・ [Email](#) - 2018年のVIPミーティングで長いディスカッションがあり、全部を書き直しました。4D Internet Commandsのように簡単に使えるだけでなく、より強力に、そしてもちろんプリエンプティブに使用できます。Emailの送信の最初のステップであるメール送信の機能は4D v17 R4にすでに含まれていて、4D v17 R5で拡張予定です。その後、Emailの解析と受信に取り掛かる予定です。
- ・ [4D Write Pro](#) - 2018年のVIPミーティングで、4D Write Proドキュメントを.docxフォーマットで書き出したいとのリクエストがありましたので、それを実現しました！

3

4D v17 R5 beta - coming soon.

開発している機能

近い将来に実現予定の機能について...



SQL経由でオブジェクトフィールドを入手

レコード(特にオブジェクト)で作業するには、ORDAはより良い方法と信じていますが、SQLを使っている既存のコードがある場合、あるいはODBC経由で外部レコードにアクセスする必要がある場合も理解しています。**オブジェクトの読み取り**はまもなく可能になります。



リクエストログの改良

複雑な環境で動きを理解するにはログは重要です。ネットワークが速くなり、データが大きくなるにつれて、より正確なログが不可欠となります。そこで、4Dログは近い将来実行タイムをマイクロ秒で、タイムスタンプをミリ秒で記録するようになります。 – そしてトラブルシューティングをより有効にするために、リクエストが実行されるのに必要な時間と、ネットワークを通してパケットを送信するのに必要な時間とに分割します。





マルチクライアントインスタンス

ローカルクライアントが必要になった経験はありますか？一台のコンピュータ上で同じデータベースに複数のクライアントが接続して動くように試したことはありますか？まもなくそれがより簡単になります。特別な設定はもはや必要ありません、ただクライアントを動かすだけで可能になります。さらに良いことに… ご要望があれば、Windows上でもクライアント・アプリケーションのインスタンスを動かします。（複製は不要で、ダブルクリックごとに他のインスタンスを開始します。もちろん選択できます。）



ライブラリー

64ビットのみサポートするように変更したので、多くのライブラリーのアップデートできました。現在進行しているのは、Hunspell v.1.7.0（スペルチェッカー）、PHP v7.3.1、CEF 3626（Chrome Foundation, 内部ウェブエリア）、OpenSSL v1.1.1（次のLTS version, TLS 1.3のサポートが可能）、そして ICU 63.1（新しいUnicodeバージョン。注意！インデックスの再構築が必要になります。）



4D Write Proの状況



4D Write Proの機能はすでに旧4D Writeを超えていますが、4D v17では皆様のリクエストに応じていきたいと考えています。



よりシンプルに

4D Writeから4D Write Proへ移行するためのお手伝いについて、数多くのディスカッションとミーティングを行ってきました。皆様からのフィードバックに基づいて、いくつかのコマンドをシンプルにする作業をしました。コマンドをより柔軟に改良し、パラメータとしてレンジだけではなく他のドキュメントの部分（例えばヘッダーやフッター、あるいはドキュメント全体）も渡せるようにしました。また、タブの設定の仕方に混乱があることも承知していますので、これらのコマンドについては再度改良していきます。



4Dメソッドへのリンク

アップグレード時の互換性を改良しているほか、新機能も追加されています。



スタイルシートなど

プログラミングによって4D Write Proエリアのプロパティを設定できるようになったほか、移行がスムーズに行えるように改良されています。並行してたくさんの作業をしていますが、優先度が高いのはスタイルシートです。



4D View Proの状況



これまでの大まかなVIPロードマップと比較すると、状況は素晴らしく進歩しています。もはやJavaScriptを使う必要はありません。値を直接取得/設定できるコマンドが追加されました。4D Viewドキュメントをインポートできるだけでなく、Microsoft Excel フォーマット (xlsx)で完全にインポート/エクスポートすることが可能です。それだけではありません！



改善されたリボン型ツールバー

リボン型のツールバーでは、クリックするだけで豊富な機能にアクセスすることができます。カスタマーは慣れ親しんだインターフェイスを直感的に使用することができます。



スタイル属性のコマンド

次に実装が予定されているのは、データの見た目を簡単に修正するコマンドです。これを使えば自動的に、複雑で美しくデザインされたドキュメントを作成できます。

4D View Proは大きなマイルストーンに到達しました。 — **4D Viewの機能を越えたということです。**あなたのカスタマーが、レポートなどの書類を.xlsx形式で作成する必要があったとしても、そのレポートを作成するのに**プラグインやスクリプトは必要はありません。**4D View Proだけを使って、ドキュメントを作り、.xlsx形式で保存できます。



4D for iOSの状況

4D for iOSはまだプレビューですが、その機能を拡張する作業を続けています。2018年のVIPミーティング以降、たくさんの進歩が追加されています。この中にはコンテンツを正しいフォーマットで表示するための**データフォーマッター**、**アイコンとテンプレートの豊富なライブラリー**、そしてあなたのアプリをよりオリジナルなものにするための**新機能**(独自のアイコンの追加、テンプレートのカスタマイズ、データフォーマッターの追加)も含まれます。

それだけではありません!

制限クエリーによって**iPhoneと同期するデータをフィルター**することができます。検索エリアに複数のフィールドをドラッグ&ドロップするだけで、複雑な検索が実行できます。



プル-トゥー-リフレッシュ

コンテンツをすぐに更新できるとても使いやすい動作です!スクリーンの上部ヘスクロールして、もう一度指を下ヘスライドするとデータが更新されます。



リレーションへ向けた第一歩



次に取り掛かる予定は、N対1リレーションです。分かりやすいリレーション名を使って、プロジェクトストラクチャーの定義をスッキリさせましょう。リレートされたフィールドの短い名前や長い名前の変更、アイコンの選択、クエリーの適用も可能です。



その他の開発中の主な機能



暗号化



暗号化は、2018年のVIPミーティングでリクエストが多かったもう一つの機能です。そして、間もなくご提供できます！完全に自動化されており、クリックするだけでデータを暗号化できます。手動での暗号化をご希望ですか？問題ありません！全てを管理できるようにコマンドを揃えました。コントロールは全てあなたの手の中にあります。

暗号化は全て内部処理で行われます – コードを書き換える必要はありません。データファイル、インデックス、ログファイル、バックアップ – 全てカバーされます。とても簡単に使えて煩雑な作業は不要で、言うまでもなく『厳重』です！もし、解読キーを無くしたら、回避策はなく、魔法の鍵もなく、データは永遠にロックされるでしょう！

セキュリティを求めよ、されば与えられん。これが4Dのセキュリティに対する答えです。



バージョン管理

4D Summit 2018で聞かれた「特別な"何か"」は、よくリクエストを受けていたものです。もしも、なぜそんなに長い時間がかかったのかと思われたのなら…その理由は全体を書き直したからです。そう、私たちはデザイン環境の膨大な部分、特にフォームエディターを大きく書き直した結果、フォームエディターはディスク上のテキストファイルを使えるようになりました。その結果、ストラクチャー全体を、ストラクチャーを記述したテキストファイルを内包するフォルダに変換することができるようになりました。ディスク上のファイルを置き換えることで、ロールバックができる、あるいはチーム作業のためにオペレーションを比較したりマージしたりする、そのような常に変更を管理し続けるバージョン管理システムのためには、大幅な書き直しが必要でした。

でもここで立ち止まるわけではありません。数万以上のファイルを持つフォルダは、配布に適していないからです。今後はそのフォルダを.4dzとして圧縮して配布することができます。そしてもちろん、あなたのアプリケーションを守るためにコンパイル版の配布が期待されていることも承知しています。その実現も近くまで来ています…



ORDA

暗号化の作業によって、他のデータベース・カーネルに関する多くのプロジェクトが遅れました。そのため、より一般的なコードとさらに良いパフォーマンスのためのプロジェクトが、多数仕上げを待っている状態です。



4D for iOS

アクション



VIPがリクエストした機能は、実現間近です！追加、更新、保存のアクションが可能になることで、モバイルアプリがよりインタラクティブに使えるようになります。引き続きご注目ください。

変更されたデータの同期

常にすべてのデータをデバイスに送る代わりに、4Dは今、更新もしくは削除されたレコードを自動的に追跡し、この変更されたデータだけを更新します。

ヒント：この機能は4D for iOSなしでも作動します。 – データを自分自身で同期させて、何が変更されたかを常に調べていますか？今後は完全に自動でできるようになります。

機能に最低限必要な環境を再確認

皆さんの中には、ソフトウェア・エディターとして潜在的な顧客との間に、事前に計画が必要な長期的な決断をする段階にいる場合もあるでしょう。思い出しておくべきは、Windows 7のメインストリーム・サポートはすでに終了していて、[延長サポートも2020年1月で終了する](#)ということです。

延長サポートの終了により、マイクロソフトからセキュリティ・アップデートが提供されなくなります。つまり、データを保存したり、アクセスするのに、このOSを使用すれば大きなリスクを取るということになります。

結果として、4D v17 R5と4D v18(2020年早々にリリース予定)はWindows 7に対応しません。同時に、4DはWindows 10(2015年から販売)に集中するために、Windows 8.1への対応も終了します。

Windows Server 2008と2008 R2も2020年1月に終了するため、4D v18が対応する最小バージョンはWindows Server 2012 R2となります。

Windows 10もしくはWindows Server 2016の使用をお勧めします。

4Dのコンピューター・インフラにおいて、すでにWindows 7もしくはServer 2008 R2での利用を大幅に減らしてきましたが、現時点でこれらのOSの使用を完全に止めるということをご理解ください。私たちは、4D v17のような他のバージョンのテクニカルサポートやテストにも影響があるため、これらのシステムに対してテストやテクニカルサポートを提供しません。

64-bit アーキテクチャ

4D v17 R4は32-bitアーキテクチャで利用できる最後のバージョンです。今後すべての4Dバージョンは64-bitのみになります。まだ64-bitへの移行を始めていないのであれば、今こそ始めましょう！

